



仁 企 号
平成19年5月1日

国土交通省 道路局長 様

仁木町長 三 浦 敏



中期的な計画作成にあたっての意見提出について

このことについて、下記の通り提出いたします。

記

(今後の道路施策について)

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える基礎的な社会基盤であり、高速道路や市町村道、いわゆる生活道路に至るまで、中長期的な視野に立ち計画的に整備が推進されるべきであると考えます。

特に北海道は、広大な面積を有し、生活の移動や輸送手段の大部分を自動車に依存しております。さらに、1年のうち約半年は降雪期となることから、町民生活を支える道路環境整備は地域行政の最重要課題であります。また、まだ不十分であります。

今後策定される計画が、すでに整備が進み都市機能が整った地域と、まだ整備が不十分である過疎地域を、同じ視点、同じスタートラインにたってゼロベースで見直すことは、地方の切り捨てと言わざるを得ません。北海道や道内市町村の実情を十分に配慮した内容であってほしいと思います。

2期目をむかえた高橋はるみ知事がめざすのは、「食糧基地北海道」であります。道内各市町村で生産される優れた農産物を、安全に、迅速に、安定的に、全国の消費者へ届ける役割を北海道が担っていくためには、高速道路のネットワークはもちろんのこと、圏域間や各市町村間を結ぶ細やかな道路網の整備が必要です。

仁木町は、さくらんぼ・トマトなど道内屈指の生産地であり、安全で質の高い農産物を鮮度の保ったまま、大消費地に提供するための生産システムの確立に努力しておりますが、大都市周辺の生産地との市場競争に参入するためには、迅速な流通ラインとしての道路整備は欠かせません。地域に活力を生み出し、成長力、競争力を強化するための事業については、今後も、国の責任として優先的に実施すべきであると思っております。

何処に暮らしていても、安全・安心に暮らせる道路環境の整備に特段のご配慮をお願い申し上げます。